

## 第6回宇治川・天ヶ瀬ダム活性化協議会 議事録

日時：令和8年3月9日（月）午後3時～午後5時

場所：JR 宇治駅前市民交流プラザ ゆめりあうじ 4階 会議室1

### 出席者

宇治川・天ヶ瀬ダム活性化協議会

会 長：【宇治市 産業観光部 部長】

脇坂 英昭

副会長：【宇治市 理事 兼 建設総括室長】

伊藤 樹

委 員：【(公社) 宇治市観光協会 専務理事】

松村 尚

【宇治商工会議所 専務理事】

長谷川理生也（代）西本 浩

【(一社) 京都山城地域振興社 総合企画局長】

勝山 亨

【京阪ホールディングス（株）経営企画室 部長】

杉山 岳彦（代）若林 浩吉

【関西電力株式会社 京都支社 地域担当部長】

小林 正義（代）古川 琢也

【宇治源氏タウン銘店会 会長】

池本 将孝

【宇治観光塔の島会 会長】

左 聡一郎（代）梅村 晃一

【平等院表参道商店会 会長】

鬼界 卓史

【鶴匠】

江崎 洋子

【国土交通省 近畿地方整備局 淀川河川事務所 流域治水課長】

下川 晃生

【国土交通省 近畿地方整備局 淀川ダム統合管理事務所 管理課長】

平尾 和彦

【京都府 建設交通部 河川課 総合治水係 主幹兼係長】

武部 晃尚

【京都府 山城広域振興局 農林商工部 農商工連携・推進課長】

高橋 美広（代）諸戸 秀樹

【京都府 山城広域振興局 建設部 山城北土木事務所 企画調整課長】

正木 利一

事務局

産業観光部 副部長 前田 聖子

観光振興課 課 長 杉本 隆之

観光振興課 副課長 北 久美子

観光振興課 係 長 西井 利治

観光振興課 主 任 永井 理帆

観光振興課 嘱 託 岡田 正登

### 資 料：

- ・第6回宇治川・天ヶ瀬ダム活性化協議会 次第
- ・宇治川・天ヶ瀬ダム活性化協議会 委員名簿

- ・宇治川・天ヶ瀬ダム活性化協議会 規約
- ・宇治川・天ヶ瀬ダム活性化協議会の会議の公開に関する要綱
- ・令和8年度当初予算 新規拡充等 主要事項説明書 【資料1】
- ・(仮称)天ヶ瀬ダムかわまちづくり広場工事等の進捗状況について【資料2】
- ・管理用通路への桜の植樹状況について 【資料3-1】
- ・桜植樹場所 【資料3-2】
- ・白虹橋周辺の設備状況について 【資料4-1】
- ・ダム直下広場周辺の整備状況について 【資料4-2】
- ・宇治橋地区の工事の状況について 【資料5】
- ・第6回淀川舟運活性化協議会について 【資料6】
- ・ワーキンググループで出されたアイデア(天ヶ瀬ダム地区) 【資料7】
- ・ワーキンググループで出されたアイデア(宇治橋地区) 【資料8】

## 1.開会

- ・事務局より資料の確認と説明等
- ・会長より挨拶

## 2. 報告

- 令和8年度当初予算 新規拡充等 主要事項説明書【資料1】を事務局から説明
- (仮称)天ヶ瀬ダムかわまちづくり広場工事等の進捗状況について【資料2】を事務局から説明  
(質疑)なし。

- 管理用通路への桜の植樹状況について【資料3-1】、桜植樹場所【資料3-2】を事務局から説明

【委員】桜が見頃となる時期を教えてくださいませんか。

【事務局】寄贈いただいた苗木は、樹高約1.8mから2mの若木でございます。開花が始まるとすれば、1年後から数年後になるかと思われます。かつて天ヶ瀬ダムの管理用通路周辺は桜が咲き誇る観光名所であり、住民の皆様が大変親しまれていた場所でもございます。かつてのように咲き誇る状態になるまでには、10年から20年程度かかるものと考えております。皆様とともに育てながら、住民の方や観光客の方にとって憩いの場となるよう、大切に育ててまいりたいと思っております。

【委員】育てていく過程を継続的に発信されている自治体の事例を伺ったことがございます。「1年後にはこれだけ成長しました」「少し咲き始めました」といった情報を発信し、ふるさと納税での応援や「桜を見に行こう」という機運につながっているとのことでした。ぜひ、途中経過においても我々から発信できる機会を設けていただければと思います。よろし

くお願いいたします。

【委員】展望広場について、具体的にどのようなものかお聞きしたいと思います。展望広場の場所からダムを眺めようとする、木が相当あるかと思いますが、ダムを見るために高さのある構造物を設置されるのでしょうか。どのような施設で、何を見ることができるのかをお教えいただければと思います。

【事務局】駐車場付近は確かに木が生い茂っており、ダムが見えにくい状況となっております。ただし、資料2の展望広場図面の右下に示した小さい区画の展望スポットからダムをご覧いただけるようになっております。駐車場に高い構造物を設置するのではなく、右下の展望スポットからダムを展望いただく形を想定しております。

➤ 白虹橋周辺の設備状況について【資料4-1】を淀川ダム統合管理事務所から説明

➤ ダム直下広場周辺の整備状況について【資料4-2】を事務局から説明

【委員】白虹橋の護岸工事が完了する時期を教えてくださいたいと思います。

【事務局】令和7年度中の完成を目指して進めているところでございます。

【委員】展望広場に駐車して、展望スポットまで向かうのは徒歩になりますでしょうか。

【事務局】はい。現状では徒歩を想定しております。

【委員】来訪される観光客の方からすると、天ヶ瀬ダム地区は同一のエリアという認識になるかと思いますが。何らかの整備を進めるにあたっては、エリアとしての一体感や、共通して利用できる施設・サービスのあり方についても、ご検討いただいているかと思いますが、ぜひトータルで一つのエリアとしてお考えいただければと思います。

また、昨今の状況を踏まえ、車椅子をご利用の方など、誰もが楽しめるようなバリアフリーへの配慮についても、改めてご検討いただければと思います。

また、ダムに限った話ではございませんが、現在宇治市と連携して、観光客の方が災害にあわれた際の案内・避難誘導のあり方について取り組みを進めております。どこからどのような場所へ避難誘導するかといった点についても、またご相談できればと思います。よろしくお願いいたします。

【委員】天ヶ瀬ダムの堤頂部は通り抜けできるのでしょうか。展望広場からの白虹橋や天ヶ瀬ダムを使った周遊について教えてくださいたいです。

【事務局】堤頂部は通り抜けできません。今後占用ということも考えながら、周遊できるルートを検討していきたいと思っております。

【委員】芝生広場までは車が入ってくることを想定してますでしょうか。

【事務局】イメージですけれど現状キッチンカーとかは入っていただく形を想定しております。

【委員】展望広場からダムツアーを行う際の徒歩ルートについてお聞きしたいと思います。

【事務局】資料2の図面にてご説明いたします。まず、展望広場からダム管理支所へは、展望広場南側に沿った歩道を通して向かうことができます。こちらは、歩道が整備されており、車椅子の方でも通行可能な仕様となっております。その歩道からダム管理支所へ向かうと、河川管理用通路の入口に接続しております。ツアーに参加されない方については、そこから管理用通路に沿って下り、ダムを見渡せる展望スポットまでお進みいただける形となっております。

【委員】具体的には、ウォーキングマップ等を作成されるかと思いますが、ルートのイメージとしては、府道上を歩くよりも、先ほどご説明のあった階段を下り、桜の植樹エリアを歩いてダムの上へ向かうルートの方が、景観的にも魅力があるのではないかと思います。府道沿いは率直に申し上げて緑・森林ばかりで見どころが少ないため、階段を活用して下に降り、桜の植樹エリアを通るルートをぜひご検討いただければと思います。

【委員】現状、展望広場への車によるアクセスを中心とした周遊が想定されているようですが、商店街としての要望を上げると、中宇治エリアから天ヶ瀬ダム地区へのアクセスについては、車だけでなく、徒歩・ウォーキング・自転車など多様な移動手段でお越しいただける環境を整えることが、商店街にとっても大変ありがたいと考えております。例えば、ダム直下広場への駐輪場の設置や、展望広場への自転車乗り入れの可否など、複合的な動線についてご検討いただければと思います。要望としてお伝えいたします。

【委員】ただいまのご意見と重なる部分もありますが、発言させていただきます。昨年の京の七夕に関する会議でもご意見がありましたが、天ヶ瀬ダムへのアクセス手段は、現状ほぼ徒歩または自家用車に限られており、定期バスの運行がない状況です。そのため、徒歩や自転車でお越しになる方も多いかと思えます。その場合、中宇治の商店街方面からお越しになる際は、吊橋付近を通るルートになるかと思えますが、特に日が短くなる秋から冬にかけては、そのあたりが非常に暗くなってしまいます。つきましては、周辺への街灯の増設や、商店街から右岸・左岸いずれへもアクセスしやすい動線の整備、また防犯上の観点からの安全対策についても、ぜひご検討いただければと思います。

【会長】実際にご利用いただく中でさまざまな課題が生じてくるかと思えますので、ご意見を参考にさせていただきたいと思えます。

➤宇治橋地区の工事の状況について【資料5】を事務局から説明

【委員】昨年度完成した階段護岸についてですが、一般の方から「子どもが流された場合に危険ではないか」というご意見をいただいております。安全面についてのお考えをお聞かせいただければと思います。

【事務局】現在、護岸についてはイベント等での利用がしやすいよう整備するとともに、護岸・河川の維持管理の観点からも整備を行っている状況でございます。今後の活用方針につきましては、どのような利用形態が適切かを検討しながら、淀川河川事務所様とも調整しながら検討していきたいと考えております。

➤第6回淀川舟運活性協議会について【資料6】を事務局から説明

【会長】第6回淀川舟運活性協議会の中でこのような報告をさせていただいたというところですよ。

【委員】今年度から宇治川の鶴飼は毎週水曜日が定休日となりました。それに伴い、鶴匠や船頭も1日休むことができ非常にありがたいということでした。また、宇治市観光センターが、普段は17時で閉館なのですが、鶴飼の開催期間中の7月・8月は18時半まで、9月は18時まで開館を延長してくださいました。鶴飼を見に来られた方は、暑い中、観光センターで涼しく待ちながら、待つことができ非常にありがたかったと思います。おかげさまで天候に恵まれて、鶴飼の定休日以外は3日間の休みのみということで非常に順調な開催ができました。

### 3. 協議

➤ワーキンググループで出されたアイデア（天ヶ瀬ダム地区）【資料7】を事務局から説明  
【事務局】いただいた意見を参考に今後の整備の検討をさせていただきます。

【委員】今回、桜を寄贈していただいたことを契機に、今後も継続的に桜の寄贈を募り、展望広場など皆が集まる駐車場周辺にも桜を増やしていくことができればと思います。現状、あのエリアは森林が中心で桜はほとんどないかと思います。京都府内の事例を申し上げますと、大野ダムでは駐車場を含む周辺一帯に桜が咲き誇り、桜まつりが開催されております。今回の寄贈を好機として、さらに桜を増やし、将来的には桜まつりの開催につなげていただければという提案として申し上げます。

【委員】多くの方に天ヶ瀬ダムへお越しいただくという観点から、何点か申し上げます。

- ① インバウンド対応についてのお願いです。現在の観光状況を踏まえると、外国人観光客の方にいかにお越しいただくかが即効性のある取り組みになると考えております。先ほど商店街の方からもご意見がございましたが、特に車を利用されない外国人観光客にとってアクセスが難しい状況にあるため、その対応が重要と考えております。また、案内看板等の多言語化も必要ではないかと思っております。天ヶ瀬ダムは、昨年、当協会でもツアーを実施しましたが、大変高い満足度をいただいております。外国人観光客の方にも喜んでいただける場所だと確信しております。ぜひインバウンド受け入れ環境の整備を

お願いしたいと思います。

- ② 消費につなげる取り組みについてです。せっかく素晴らしい場所にお越しいただいても、観光消費につながらないままお帰りになってしまうのはもったいないと感じております。例えば、駐車場にデジタルサイネージを設置し、市内の事業者やお土産を購入できる店舗を紹介するスペースを設けることで、市内への回遊を促す取り組みをお願いできればと思っております。
- ③ 施設活用についてです。ワーキングにてキャンピングカーの宿泊やドッグランについてのご意見があったかと思いますが、現在日本国内のキャンピングカーは約 20 万台と右肩上がりに増加しております。RV パークと呼ばれるキャンピングカー専用の宿泊駐車場は、近年コンビニエンスストアにも設置されるなど普及が進んでおります。天ヶ瀬ダム付近にホテルを建設することはコスト面で難しいかと思いますが、RV パークであれば比較的 low コストで宿泊機能を提供でき、宿泊に伴う消費も期待できます。また、天ヶ瀬ダムの強みの一つは市内から非常に近いという立地にありますので、市内でお買い求めいただいた食材等を RV パークでお楽しみいただくような流れが生まれれば理想的と考えております。スピード感を持って検討いただければ幸いです。
- ④ 天ヶ瀬ダムブランドの活用についてです。近年、ダムの水を活用した日本酒の醸造など、ダムを活かした特産品開発の事例が増えております。天ヶ瀬ダムではお茶を使った取り組みがすでに行われていると伺っておりますが、天ヶ瀬ダムのブランドを活かしたお土産品を開発し、市内の事業者の方々にも販売いただけるような仕組みができれば、新たな観光消費の流れが生まれるのではないかと思います。

天ヶ瀬ダムは非常に大きな可能性を秘めた素晴らしい場所だと思っております。ぜひ上手く活用していただければと思います。よろしく願いいたします。

【委員】先ほどから桜の植樹についてお話がございましたが、桜は春にしか楽しめません。他の季節についても、例えば異なる種類の樹木を植樹されるようなプランがあるのかどうかをお聞きしたいと思います。また、広場に駐車して反対側へ向かうとなると、かなりの距離を歩くことになるかと思えます。エリア内の移動手段として、例えば遊園地などで見られるような小型の EV 車両を活用するようなプランがあるのかどうかについても、併せてお聞きしたいと思います。

【事務局】他の季節も楽しんでいただけるように、桜以外の樹木につきましても、左岸・右岸の整備の中で考えているところがございます。エリア内の移動手段につきましても、左岸と右岸を行き来するためには何らかの移動手段が必要であるというご意見はごもっともと存じます。徒歩での移動が可能な方もいらっしゃる一方、それが難しい方もいらっしゃるごことから、どのような手段が適切かについて検討が必要と認識しております。今後、小型モビリティの導入検討もございまして、その中であわせて検討してまいりたいと考えており

ます。

【委員】茶づなとダムをつなぐモビリティについては、この二つのエリアをどのような手段で結んでいくかが重要な課題であると思います。中宇治からお越しになった方をこちらへ誘導していくための手段を何か講じなければ、なかなか難しいところがあるかと思います。例えば、茶づなとダムの間で何らかのイベントを通じた連携を図るなど、ソフト面での仕組みづくりも必要ではないかと感じました。

【委員】ソフト面でさまざまなご意見が出ておりますが、いずれもあれば望ましいと思っております。天ヶ瀬ダムを訪れた際に、まず来訪者が感じるのはダムの大きさへの驚きではないかと思っております。ダム自体の観光放流は現在も実施されているかと思っておりますが、例えば展望広場の完成時のようなイベントに合わせて観光放流をお願いするのか、あるいは毎週特定の時間帯には必ず実施するといった形で定期的に連携を図るのか、現時点での予定をお聞かせいただけますでしょうか。

【事務局】ダムの放流につきましては、貯水量の状況など、様々な条件がございますので、国との調整を図りながら、イベントに合わせた観光放流を実施できるよう検討してまいりたいと考えております。観光放流と連動したイベントを通じて、来訪者の方に足を運んでいただけるような工夫をしっかりと進めてまいりたいと思います。ただし、民間事業者との連携が不可欠となりますので、引き続き皆様のご協力をいただければ幸いです。

➤ワーキンググループで出されたアイデア（宇治橋地区）【資料8】を事務局から説明

【委員】現在、ドッグランや手ぶらバーベキューなどを想定した河川敷の整備についてお話が出ておりますが、この場所はかつて花火大会の際に雨が降って放流が行われると浸水することがございました。現在はダムの改修もかなり進んでいることから、リスクは以前より軽減されているかと思っておりますが、万が一ゲリラ豪雨等により天ヶ瀬ダムの緊急放流が必要となり、エリアが浸水するような事態が生じた場合の対応について、お聞かせいただきたいと思っております。具体的には、想定されるハード整備として簡易トイレや電気設備の設置が挙げられておりますが、浸水発生時の復旧方法や浸水被害を軽減するための対策など、現時点でお考えのことがあればお教えいただければと思います。

【事務局】このエリアが増水時に浸水するエリアであることは認識しております。ご説明の中で挙げております簡易トイレや電気充電設備につきましては、イベントごとに活用できるような可搬式のを想定しております。常設的な設備の設置については、民間事業者や皆様からのご意見を踏まえながら、さらなる工夫が必要と考えているところでございます。いただいたご意見を十分に考慮しながら、常設整備とするのか、臨時設置とするのかも含めて、しっかりと判断してまいりたいと思います。

【委員】宇治橋地区でバーベキューとのことですが、護岸整備が進むにつれて、指定外の場

所での不法なバーベキューが増えることも懸念されます。現状でも、宇治川の下流、京滋バイパス付近で無秩序にバーベキューをされている方がいて、騒音等の問題が生じているかと思えます。指定エリアでのバーベキューと、指定外の場所での無断使用との区別や、そうした問題への対策についてお考えをお聞かせいただけますでしょうか。

【事務局】ご指摘の下流エリアでの事象については認識しております。利用される方がごみを出さないことが大前提であると考えております。今回、茶づな横のエリアにつきましては、ワーキンググループでの意見として、手ぶらバーベキューは民間事業者による事業として実施し、市民の方が自由に利用するバーベキューとは区別する形を想定しておりました。イベントとして実施し、後片付けも含めて管理できる体制を整えることが前提となっております。ご指摘いただいた環境美化の観点からも、適切な維持管理ができない形での実施は行わないよう努めてまいりたいと考えております。

【委員】スポーツをされる方にターゲットを絞ってみてはどうでしょうか。

- ① 自転車へ乗られる方への対応についてです。自転車に数十万円から数百万円を投じるような方は、愛車の取り扱いに非常に気を遣われます。そのため、簡易な駐輪スペースでは利用を敬遠されることも多いかと思えます。しっかりとした駐輪設備を整備することで、来訪を促し、周辺での消費にもつながるのではないかと考えます。
- ② ランナー向けの施設についてです。同じ淀川沿いでは、大阪の淀屋橋や京橋にランニング後の着替えやシャワーが利用できる施設があります。茶づなエリアは宇治駅からも近い立地ですので、仕事帰りなどに宇治まで来てランニングを楽しみ、電車でお帰りになるといった利用も十分見込めると思えます。現状、宇治市内にはそのような施設が少ないかと思えますので、ぜひそうした観点からもご検討いただければと思います。

【委員】宇治橋地区の高水敷整正と親水護岸の整備が今年度末をもって完成する見込みです。今後宇治市において利活用の方針を検討していただけるとのこと、大変ありがたいと思っております。我々としても、河川管理の効率化と河川事業の促進という観点から、かわまちづくりにご協力させていただいているところでございます。

今後の活用方針につきましては、単発的なイベントにとどまらず、通年での継続的な利活用を目指していただきたいと思っております。すでに挙げられているイベント案も大変素晴らしいと思いますが、まず多くの方に幅広くご利用いただくことが前提となり、その上で利用方法が定まり次第、宇治市において占用手続きを行い、安全面を確保していただくことが大前提になるかと思えます。

その前提を踏まえた上で、資料 8 以外の観点からも申し上げます。茶づなではお茶の体験も行われており、多くのお客様がお越しになっていたと記憶しております。河川敷や水辺にも近い立地を活かし、歴史や文化を学べる場、あるいは体験学習の場としての活用ができ

ればと思っております。

また、スポーツ活用の観点からは、他の地域の事例としてBMXなど子どもたちが気軽に体験できる簡易施設を設置しているところもあるようです。そのような体験・経験の場としての活用もご検討いただければと思います。

さらに、川沿いに人が集まるエリアというのは多いようで実際には少ないものです。その特色を活かし、川を眺めながらお茶を楽しめるような空間など、すでに整備が進んでいる塔の島地区とも差別化を図りながら、この地区ならではの特色を活かした活用をしていただければありがたいと思います。

最後に、エリア全体のアクセスについてです。天ヶ瀬ダム地区も含め、宇治駅からは比較的近い立地ではありますが、現状では塔の島周辺が中心となっており、今回整備された宇治橋地区まで足を延ばしていただくには、来訪者にとっての明確なメリットが必要ではないかと感じております。例えば、エリア全体でスタンプラリーを実施し、全地区を制覇すると商店街での割引特典が受けられるといった、来訪意欲を高める創造的な仕掛けができればと思います。今後のサウンディング調査の中で、わざわざ足を運んでいただけるような魅力の抽出ができればと思っております。

**【委員】** ワーキンググループからの意見としてドッグランや手ぶらバーベキューといった案が挙げられておりましたが、これらは民間事業者の参入を前提とした提案なのでしょうか。例えば、ドッグランを整備する場合、まず施設を整備した上で民間事業者の参入を募集するのか、あるいは逆の順序で進めるのか、その手順が明確でないように感じております。キッチンカーのような単発イベントであれば比較的参入を促しやすいかと思いますが、手ぶらバーベキューのような施設を年間通じて運営するとなると、民間事業者としては収支の観点から参入が難しいケースも考えられます。どのような順序で進めていかれるのか、お教えいただけますでしょうか。

**【事務局】** ご質問の趣旨は、施設整備が先か、民間事業者による運営が先かというご確認かと思えます。基本的には、社会実験として市が協議会の皆様と連携しながら取り組んでいくことを一つの方向性として考えております。また、令和8年度に予定しておりますサウンディング調査を通じて、民間事業者から参入意向やアイデアをいただきながら、どのような施設や取り組みがこの場所に適しているかを検討してまいりたいと考えております。先ほど委員からもご意見いただきましたように、単発イベントにとどまらず通年での活用が可能かどうかという点も含めて検討が必要と認識しております。その結果として、民間事業者に整備・運営をお願いできる場合はそのような形を取ることも考えられますし、基本的なインフラ部分については市が先行して整備しなければ参入が難しいという判断になれば、そちらを優先するという整理になるかと思えます。社会実験やサウンディング調査を経ながら、適切な順序をしっかりと検討してまいりたいと考えております。

【会長】今後に向けまして、本日いただいた意見が、どのように反映できるのか、参考にしながら進めていきたいと思ひます。

#### 4. 閉会

- ・事務局より閉会の挨拶